

### 授業概要

社会状況が急速に変化する現在、グローバル人材育成が社会全体の課題となる中で、多くの企業は「会社にとって人財になりうるひと」を採用したいと考えています。

この科目は学生自身が自主的に課題を発見します。経験年数を重ねた社会人が「乗り越えてきた辛いビジネスシーン体験」「対人コミュニケーションでは上司・スタッフ・客とのやり取り、クレーム対応」「プライベートには心身の体調整えること、モチベーションの向上」など取材すると、どれもそこに言葉が介在していることに気が付きます。言語の使い方心の世界が変わるともいえます。言葉を通じて相手のニーズを読み取り、信頼関係を築き、効果的コミュニケーションができるなら人生どれほど豊かになるでしょう。

学びの15週を自ら書き記す業績「ラーニングポートフォリオ」に毎週の授業目標を設定し、ブリーフ・セラピー、キャリアカウンセリングを参考に「仕事に就くアクションプランを立てる支援科目」とします。

### 授業計画

第 1 回	就職活動モードに切り替えるオリエンテーション
第 2 回	マイキャリアの短期目標、長期目標のためのスケジュール設定
第 3 回	自己分析とアセスメント
第 4 回	自分が本当に目指す方向、企業選び基準ー選社軸ー
第 5 回	業界・企業研究におけるキーワード
第 6 回	キャリアの選択肢を広げる情報収集
第 7 回	優良企業情報、その理由ーデータを見るー
第 8 回	優良企業情報 具体的企業を設定、情報の比較
第 9 回	ナビ活用 具体的企業を設定、情報収集の勘所
第 10 回	ナビ活用 具体的企業を設定、情報収集の勘所
第 11 回	ナビに掲載されていない企業情報
第 12 回	ナビに掲載されていない身近な地域周辺の情報収集
第 13 回	就活で避けては通れない3つの関門、エントリー、GD、面接
第 14 回	10年後に差がつく「仕事」とマイキャリアプラン
第 15 回	ゴールを設定「アクションプラン」
第 16 回	内定者報告、社会人取材報告、自らの振り返り

### 到達目標

- 履修の自己管理ができる。自己成長が見える化する。
- 自分の目標達成へ向けての学びの計画や工夫を見つけ出すことができる
- 内定取得というキャリアビジョンを目指すための、この瞬間、この時間の真剣な積み重ねが成果を左右することを認識できる。毎日の大学生生活のアクションプランを見直すことができる。

### 履修上の注意及び予習・復習

3年生で履修するのが望ましい。日本語の文章が社会人として十分理解できること  
パソコンを併用する。事前に指示を出す。仕上げ、検索など情報収集を行うこともある。

### 評価方法

毎回の期限内に提出されたもののみを評価する。

中間課題提出 20% 課題発表プレゼンテーション 20%  
グループワークにおける貢献度 20% ポートフォリオ記入シート 40%

### テキスト

随時最新情報プリントを配布する